



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2012年4月 No.359
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2011~2012)	クラブ役員 Officers
センテナルクラブ会長 : 『TEAM-共にさらなる目標を目指そう!』 東京セントラルクラブ会長 : 『ひとつとなってYMCAへ』 国際会長 : 『とにかくやろう-成せば成る』 アジア地域会長 : 『信念をもって使命を果たそう』 西日本区理事 : 『飛翔たとう ワイズスプリットを胸に』 中西部部長 : 『であいて愛』	会 長 : 谷川 寛 副会長 : 岡本 剛介 書 記 : 石津 雅人 会 計 : 藤原 正巳 メネット会長 : 谷川 有美子 Y連絡職員 : 鍛冶田 千文

Biblical Message of April

愛には偽りがあってはなりません。喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共になきなさい。

(ローマの信徒への手紙 12章 9a、15節)

April Club Meeting

『YMCA サービス/ASF』

4月第1例会

日時: 2012年4月18日(水) 18:45~20:45

場所: ホテルグランヴィア大阪 21階

司会: 三浦 直之 君

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1.開会 | 谷川 寛 会長 |
| 2.ワイズソング | 一 同 |
| 3.聖句朗読 | 福永 嘉彦 君 |
| 4.今月の強調活動 | 三浦 直之 君 |
| 5.ゲスト紹介 | 谷川 寛 会長 |
| 6.晩餐 | 一 同 |
| 7.卓話「日本人とキリスト教」 | 大阪教会 岡村 恒牧師 |
| 8.連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 9.誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 10.閉会点鐘 | 谷川 寛 会長 |

4月第2例会

日時: 2012年4月25日(水) 18:30~20:30

場所: 土佐堀YMCA会館4階

お誕生日 隅田メネット

例会担当

3班: 石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦の各メン

大震災の苦境から立ち上がる若い力に感動

坂本 哲朗

あの東日本大地震により、1年が過ぎました。日本国民の無くした事の大きさを思い起こすたびに、心が痛む毎日です。また、テレビニュースを見るたびに、復興の進捗の遅さと原発事項処理のお粗末さと政府の無力さに、怒りが込み上げてくる気持ちを抑えることができません。でも今日、このニュースを見て、なぜか感動で、涙が止まりませんでしたので紹介します。

宮城県石巻市雄勝地区は、大津波で家屋や、そして、代々受け継がれてきた伝統の「伊達の黒船太鼓」和太鼓がすべて津波で、流されたが、中学生は、廃タイヤに革の代わりに透明な荷造りテープを張って作ったタイヤ太鼓/パチは麵棒で代用し、廃タイヤで作った太鼓で、復興を願い、東京や各地で、演奏会を催し、そして、この春には、ドイツでも、演奏を行う。この若い力と工夫に元気をもらいました。また、3/21の春の選抜高校野球で、初出場を果たした石巻工(宮城)の阿部翔人 主将の選手宣誓高校生とは思えない立派な宣誓でした。(写真は4頁目)

(次回は高橋 裕也さんです)

【クラブ統計 Statistics】

12年3月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ/じゅら献金
在籍会員 23名	メ ン	17名	9名	3月	3月: 20,500円
例会出席 17名	メネット	9名	0名	現 金	
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	累 計	累 計: 127,893円
0名	ゲ ス ト	1名	0名	切 手	
出席率 73.9%	合 計	27名	9名	現 金	

3月第2例会

と き：3月28日（水）18：30～20：30
ところ：大阪YMCA土佐堀会館 406号
出席者：石津、井上、大村、岡本、鍛冶田、藤原、三浦、
山田、山中の各メン

協議内容

1. 5月例会のスピーカー 中村隆幸メン
2. 内規に「休眠会員制度」の設置なし
3. 30周年の青年会員候補半額、若干名なら問題なし
4. 来期のゲスト・スケジュールを井上メン検討、
詳細は6月に
5. 6月例会卓話者を井上メン検討
6. キックオフMeのスケジュール、内容、各委員長の目標
の事前調整について岡本メン提案
7. 30周年の各クラブ訪問スケジュール、チラシ制作（松
田）、各会長に原稿依頼（石津）
8. 来期に向け新しいファンドづくり6月キックオフMe
で提案依頼（藤原）

愛の具体的な表現として、共に喜び、共に泣くことが私達の生活に於ける“交わり”という貴重な行為であると考えられます。それは単に心理的なレベルの同情などに終わることなく、更に茲に一部引用したパウロの「ローマの信徒への手紙」における一つの生活の規範なども一般の日常生活の面で考えたいものと思います。

聖句選/コメント：福永 嘉彦

（今回は、谷川 寛さんです）

3月第1例会

と き：3月21日（水）18:45～20:30
ところ：ホテルグランヴィア大阪 21階

少し寒さのやわらぎ、春の息吹を予感させるなか、ゲストを含め27名が参加し、3月例会を開催しました。聖句朗読、強調活動、晚餐の後、今月のメインスピーカーは、大阪大学イタリア語講師のジュゼッペ・フィーノさん。「日本人とイタリア人」という題で、この二つの民族性の違いを世界的見地から、流暢な日本語でお話しいただきました。日本とほぼ同じ大きさをもつイタリア共和国の人口は6,000万人弱。その90%はカトリック教徒で、国内にある独立国バチカン王国の象徴というべきローマ法王はとても国民から愛されているとのこと。山地が国土の70%というのも日本とほぼ同じ。1999年に制作された「イタリア人」の国民性をコミカルに描いた5分間のDVDには思わず笑いの渦。陽気で明るいイタリア人と生真面目な日本人を映し出すジョークでは、世界の中の日本人を再発見しました。とても楽しい、ユーモアたっぷりのお話に時間も瞬く間に過ぎてしまいました。各メンバーからの報告があり、誕生祝いの後、大村副会長補佐の点鐘で閉会しました。

(中村茂高)



ユーモアたっぷりにイタリアの国民性を語るジュゼッペさん

≡ Club Activities (March, 2012) ≡

On March 21, our club's March meeting was held at Hotel Granvia Osaka, with a total of 28 Y's men, Y's menettes, and a guest in attendance

.Mr. Hajime Ohmura, acting president, presided over the meeting, replacing injured Mr. Kan Tanikawa. With its emphasis on EF/JWF activities this month, Mr. Masato Ishizu briefed the meaning and purpose of the programs.

The highlight of the March meeting was a speech made by Mr. Giuseppe Fino, a lecturer of the Osaka University who teaches Italian at the university. With his fluent Japanese he was enthusiastic about speaking its history, culture, and people of various regions of Italy.

, With his sense of humor everybody was fascinated by his presentation about the anecdotal short stories regarding the difference of characters of various nations in the world. We felt Italy so close to us thanks to him.

Yen 20,500 was collected for the club's Niko-Niko (smiling) fund. Mr.Hideo Yamanaka. was successful in raising Yen 3,500, selling the Kabuki tickets.

Towards the end of the meeting, Mr.Shinji Ohata made a farewell address, as he will be transferred to Tokyo this April. He is to continue his Y's activities, joining the Tokyo Y's Men's Club. Good luck, Ohata-san. We all hope you will come back to join us again.!

香港最近事情（その1）

谷川 寛

春節明けの香港。今回の訪問は、アジア太平洋 Y 同盟総主事の山田公平さんの提案が発端になりました。香港の YMCA、ワイズの人々は、昨年の中日本の震災に際多額の支援をしてくれました。これに対する謝辞の表明、および、彼らにも関心の高い「福島原発事故と今後の日本のエネルギー政策」のお話することが主目的でした。



香港クラブ、C.L. Kung さんの質問に答える筆者

二日目に日銀香港支店長の河合さんにお会いし、最近の香港経済、ユーロ圏債務危機のアジアへの影響、などのお話を聞く機会を得ました。



日銀初の女性海外支店長、河合裕子氏を囲む、山田公平 APAY 総主事と筆者

また、香港中文大学、荘大量・副教授のお話、などを総合しますと、香港は2011年、欧州債務危機とアメリカの景気低迷による影響を受けて、経済成長が減速。今年も輸出の不振から、経済成長は、地場消費、公共投資に依存することになるようです。

香港経済は、ますます中国本土からの観光客依存を強めています。700万人の人口の香港にとって、昨年の中本土からの客は、なんと2800万人？彼らの落とすお金が地場消費を支えています。しかし、デメリットもあります。中国本土からの人々のマナーの悪さが評判になっています。いつも宿泊する Cityview Hotel (旧、YMCA International House) も、最近グレードを上げたこともあり、中国本土のお客は歓迎せず、彼らの宿泊を受け付けていません。前総主事の Lawrence Yick 氏の説明によると、彼らは「ロビーで大声でしゃべり、平気でゴミを捨て、客室のタオル、などの備品を持ち帰り、他の客に迷惑を掛ける」からだそうです。また、公共の場所でのマナーが悪く、最近中国本土から来た母親が、地下鉄 (MTR) 車内で、子供にヌードルを食べさせた、として罰金を買いました。また、最近、中国本土からの「越境妊産婦」が増えて、大問題になっています。そのお話を次号で紹介します。

YMCA ニュース

■創立記念礼拝

日時 6月2日(土) 13:30~14:15

場所 大阪YMCA会館チャペル

■会員大会

日時 6月2日(土) 14:30~16:00

場所 大阪YMCA会館903号室

内容 報告 2011事業報告 2012事業計画

議事 2012基本方針・年間聖句・年間讃美歌

・会員制度変更

表彰 「奉仕の書」・継続会員表彰

公益法人認可による会員制度改革へ向けての移行計画についての案件があります。大きく変わる過渡期にはありません。大阪YMCA国際専門学校では、4つあった学科を専門課程 (留学生事業) と高等課程 (高校生事業) とし、ひとくりにしながら連携・統合をはかります。

B F 報告

隅田 (260g) 山中 (170g) 鍛治田 (40g)

新保 (20g)

合計 490g





ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

会員、ゲストからのメッセージ

- 実に楽しくイタリアのことを知ることができました。地域的に異なるのは日本と同じだなと思いました。(石津 雅人)
- 大好きイタリアを楽しく、分かりやすく紹介頂いて、素晴らしい時間を過ごせました！(井上 文輔)
- 本日はイタリアの文化について知るとても貴重なお話有難うございました。イタリアに行きたくくなりました。またセンテニアルに1年半参加させて頂き、有難うございました。今後Y'sやプライベートを通じてご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。(大畑 慎治)
- イタリアのことがわかった気になりました。(岡本 剛介)
- イタリアの各地を回る旅行がしたくなりました。(岡本 麗香)
- フィーノ先生のイタリアの楽しいお話が聞けてよかった。(大村 肇)
- 楽しい時間を有難うございました。もう少し聞いてみたかったです。(鍛治田 千文)
- ジュゼッペ先生のItaly話でイタリアに行きたくくなりました。特にポローニアに行ってみたいです。(坂本 千春)
- イタリアへ行きたくりました。(坂本 哲朗)
- 3・21はダウン症世界記念日です。染色体21番目が3本あるということです。
・「イタリア人と日本人」楽しいお話でした。(新保 正秋)
- イタリアの県民気質、国別特徴など、楽しくうかがいました。朗らかなイタリアを是非旅してみたいと思います。
・秋月英子さんが切手をたくさん送って下さいました。感謝申し上げます。(隅田 恵子)
- ジュゼッペ先生の授業、楽しかったです。娘も明日阪大を終了します。(中村 幸枝)
- 数年ぶりに参加させて頂きました。国民性のお話、とてもユーモアに富んでいて、楽しませて頂きました。今後共よろしくお願い致します。(中村 珠実)
- ジュゼッペ・フィーノ教授のお話、楽しく有益なお話でした。春もどこへやらという毎日で、体に気をつける日々です。(福永 義彦・滋子)
- 国際性豊かなセンテニアルクラブらしい楽しい例会でした。フィーノ先生をご紹介頂いた谷川会長に感謝申し上げます。当クラブには異文化を吸収しようとする積極的な雰囲気がありますので、年に1~2回は外国の方をお呼びしてお話を聞く機会を作りたいものです。(藤原 正巳)
- ジュゼッペ教授の巧みな日本語でのイタリアにかかわるお話、面白かったですね。また、地方による文化、気質の差がかなりあることを知りました。(松浦 孝次)
- ジュゼッペ・フィーノ先生のイタリアのお話、大変楽しく、面白く聞かせて頂きました。有難うございます。(松浦 和子)
- さすがイタリア！！ちょうどよいぴったりの国民性の話を聞けました。素敵な卓話でした、有難うございました。(松田 明久)
- ジュゼッペ先生のイタリアのお話、面白かったです。実際に現地に行って体験したいと思いました。(三浦 直之)



タイヤにテープを張って作った太鼓で伝統の「黒船太鼓」の練習をする雄勝中学校の生徒たち

- 今夜のスピーカーはイタリア人の長所、短所を面白おかしく話してくれました。初めはイタリア人らしいサービス精神を示そうと努力しておられるのかと思って聞いていました。どうやらこれはこの人の“キャラ”そのものだと分かりました。ご本人も楽しんでいただようですね。(山田 孝彦)
- 大畑さん、ご昇進おめでとう。東京でのご活躍を祈ります。(山中 秀男)
- 楽しかったです。(山中 ちあき)



後記

待ちに待った桜の開花の時期が訪れようとしています。これは長かった寒さからの解放であり、春の訪れでもあります。勤続30年の旅行券をもらって、3月初めに鹿児島で寒緋桜(かんひざくら)＝写真を観ました。鮮やかな濃いピンクのよく目立つ花で、下を向いているのが特徴の桜です。私は観るのは初めてでしたが、まだ肌寒い時期に桜を見ることができ、ちょっと感動しました。

東北の震災から1年、被災地で、津波被害のあった到達点に、鎮魂とともに教訓を後世に伝えようと、桜の苗木を植える運動が広がっています。

日本人の心とも言える桜ですが、アンケートによると、満開よりも散り際が好まれるようです。

(中村 茂高)

